

関東ふれあいの道埼玉県③伊豆ヶ岳を越えるみち

日時：2019年7月6日（土） 天候：曇一時小雨 歩行距離6.9km 歩数16000歩

集合：A班 新日本スポーツ連盟神奈川県連盟事務所前 6時45分

B班 京王井の頭線高井戸駅（出口北側）ミスタードーナツの前（環状八号線沿い） 7時30分

コース：子の権現（640m）→天目指峠→高畑山→古御岳→伊豆ヶ岳（850.9m）→正丸峠→車移動→正丸駅

参加者：熊坂L 河野SL 清水 伊藤美 栗田 市村 高橋紀 奥村 山田 島 三田 11人

運転手：笹館博さん（よこはま月例マラソン事務局長）

関東ふれあいの道埼玉県5回目は、③伊豆ヶ岳を越えるみちです。②奥武蔵の古刹を訪ねるみちで歩いた吾野駅から子の権現コースと④の1で歩く峠の歴史をしのぶみちの正丸峠から正丸駅コースをレンタカー使用でカット。全長14.5kmですがほぼ半分の6.9kmにしての山行です。

伊豆ヶ岳の天気予報は15時から雨、伊豆ヶ岳山頂手前で予報より少し早く雨がパラつきました。それでも梅雨時の季節として考えれば恵まれた山行となりました。山頂は、岩場で狭いところでした。

関東ふれあいの道は、各県ごとに全コース踏破すると記念品がでます。そのためには簡単な感想文と踏破ポイントでの写真が必要です。伊豆ヶ岳は山頂標識が高く設置されていて写真おさまりが良く、少し雨に濡れた葉の緑も鮮やかです。



関越道～圏央道～狭山日高IC～299号線～子の権現（640m）

小雨降るなか神奈川県連盟事務所前に参加者8人が集合。笹館さん運転のレンタカーは予定時刻15分前の6時45分に出発。第三京浜から環状八号線へ、前回より道路が混んでいて少し渋滞しました。それでも定刻待ち合わせ時間の7時45分に高井戸駅へ、高橋さんと奥村さんが乗車。このころ雨は上がっています。

関越道へ入り、三芳PAで小休憩、観光バスなどで駐車場は満杯状態。さらに車を進めて鶴ヶ島JCTから圏央道を八王子方面へ、8時49分に狭山日高ICで下りて一般道へ。299号線などを走り標高をグングン上げていきます。子の権現手前でトラブル、車が急坂で上がり切れず後輪がスリップしてタイヤから煙が出てきました。全員下りて、笹館さんの運転技術で乗り切りました。笹館さんの話ですと「車体が長く、カーブで道の左右も高低差があり右後輪が路面から浮いてしまってスリップした」とのことでした。

200mほど徒歩で上り、9時50分に子の権現に到着。標識には「正式名は大鱗山雲洞院天龍寺」と書かれていました。前に訪れたときにスイカをごちそうしてくれたおみやげ屋の主人にあいさつして参道を上ります。



参道～山門～仁王像～わらじの前で「今日の安全山行祈願」集合写真

参道を上っていくと山門です。「大鱗山」の字は金文字でくっきりと「天龍寺」の字はかすれています。山門をくぐると勇壮な仁王像が立ちはだかっています。仁王像は山門で見かけますが、露座されているのは初めて見ました。

聖橋を渡ると本坊、さらに歩を進めると本堂。子の権現は足腰守護の神仏として広く信仰を集めてきました。信仰の証となる強大な鉄のわらじと夫婦下駄が目飛び込んできました。わらじの前で「今日の安全山行祈願」集合写真。鉄わらじは、②の奥武蔵の古刹を訪ねるみちの踏破撮影ポイントでもあります。

清水さん指導の入念ストレッチ。熊坂リーダーのコース説明、「正丸峠15時30分予定です」。



子の権現～下り上り下り時々尾根道～天目指(あまめざす)峠(475m)

10時15分に出発です。本坊脇に関東ふれあいの道の石柱、注意しないと見落としそうです。天目指(あまめざす)峠をめざします。竹林を通ると暖房用と思われるマキが積まれていました。「当山は檀家を持たない祈願寺です」との立札、そういえば墓地を見かけませんでした。

レンタカーで640mの子の権現まで上がっていますので、最初は下りです。下り上り下り時々尾根道を繰り返して11時19分、標高475mの天目指峠まで下りました。車道が現れました。説明板に「天目はアマメと読み、この付近の方言で豆柿を意味します。山地に自生する紫色の柿でこのあたりは豊富でした。指は、山地で山を焼いてその後に種をまく焼き畑のことで」と書かれていました。一息入れて上りに備えます。



天目指峠～送電線のない東京電力鉄塔～高畑山（695m）で昼食

11時24分、天目指峠から伊豆ヶ岳までの上り山道コーススタートです。少し上ると関東ふれあいの道の標識、「伊豆ヶ岳を越えるみち」ほぼ半分ほど歩いてきました。熊目撃の注意紙が貼られていました。

岩場の上り下りを通過して、さらに上ると見晴らしの良いところに出ました。東京電力の鉄塔が空高くそびえています。東京電力安曇幹線三三九と書かれていましたが、送電線は張られていませんでした。

12時22分、標高695mの高畑山到着です。天目指峠から1.6km歩いて標高を220m上げました。ここでベンチに座って昼食です。



高畑山～古御岳（830m）～コース最高峰の伊豆ヶ岳（851m）

12時48分出発です。めざすは古御岳、そしてその先の伊豆ヶ岳です。しばらく歩くと大きな蛙を見つけました。このあとも何回か見かけることになります。白い花が咲いていましたが名前が分かりません。

上りです。先頭は熊坂リーダー、ピッタリついてるのが清水さん。長身の三田さんと山田さんはゆったりと最後尾は頼もしい河野サブリーダーです。13時35分、標高830mの古御岳山頂です。汗を拭い水分補給、靴のひもを締め直して再スタートです。

尾根道を少し下り最後の上りで小休憩、予報より少し早く雨がパラついてきました。この場所のすぐ上がこのコース最高峰の伊豆ヶ岳でした。14時15分に山頂到着です。851mの石柱標識が岩場に立っていました。



伊豆ヶ岳～五輪山～レインウェア着用～小高山（720m）

狭い岩場の山頂片隅に大黒天があり、お賽銭がそえられていました。伊豆ヶ岳を越えるみちの踏破ポイントですので集合写真、この日の参加男性4人で1枚撮影していただきました。14時25分、下山開始です。

標識には正丸峠まで2.0kmと表示されています。女坂は崩落のため通行止めになっていました。案内板に「伊豆ヶ岳はチャートできています山です。チャートは生物の死がいたくさんたまって岩石に変わり、秩父帯のなかでもとくに固いため、浸食に対して強くゴツゴツした地形をつくっています」と書かれています。

五輪山を通過、雨が降ってきたためレインウェアを着用しての下山です。15時5分、小高山まで下りました。



小高山～雨上がり順調に下山～予定時刻5分前に正丸峠に到着

正丸峠までは1kmを切り、あと900mです。雨も上がりレインウェアを脱いで下山支度です。

熊坂リーダーを先頭に下山開始、後ろはピッタリ清水さん。次々に続きます。後ろ3人は、三田さん、山田さん、河野サブリーダー。途中順番はいろいろ変わりましたが、ここへ来て上りのときと同じ順番ですね。

順調に下山して予定時刻5分前の15時25分、伊豆ヶ岳茶屋がある正丸峠に下りてきました。



正丸峠で笑顔の集合写真 歩行距離6.9km 歩数1万6000歩

正丸峠の標識を真ん中に集合写真です。私が神奈川ウォーキングクラブの旗持参していたのを思い出して、ここでこの日初お披露目です。もうひとつの初は、この日の山行者全員の集合写真です。笹館さんに撮影していただきました。いつもながら山頂での写真と下山しての集合写真は、達成感いっぱいの笑顔の写真です。この日一押しの写真です。

③伊豆ヶ岳を越えるみち、10時15分に子の権現をスタート、14時15分に踏破ポイントの伊豆ヶ岳山頂、15時25分正丸峠下山。歩行距離6.9km、行動時間5時間10分、歩数1万6000歩でした。



15時30分、レンタカーに乗り込んで正丸駅へ向かいます。正丸峠から正丸駅までは、次回逆コースで歩くことになります。15時48分に正丸駅、ここでトイレと着替えを済ませて帰路に。三芳PAでトイレ休憩、練馬IC手前から少し渋滞。18時10分に高井戸駅着、高橋さんと奥村さん下車。19時10分、ほぼ予定時刻の19時10分に解散地点のトヨタレンタカー東白楽駅前店に到着しました。この日の横浜の日の入りは、6月22日の夏至より少し早くなっていて19時0分、赤提灯の灯りが恋しい時間です。(いちむら記)

